



暮らし、
うるわし、
佐賀。

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館コレクション

日は好日

ひびこれよきひ

1期：絵画

画家のまなざし

令和 11月6日【土】 - 12月5日【日】 休館日：月曜日
3年

2期：陶芸

うつわの美 - 文様にみる -

令和 1月4日【火】 - 1月30日【日】 休館日：1月17日【月】・24日【月】
4年

唐津市近代図書館 美術ホール

午前10時 - 午後6時 (入場は午後5時30分まで)

入場料(1期・2期それぞれ)

一般 300円 / 唐津市内の75歳以上の人 150円
(住所と年齢が確認できるものをご提示ください)

※有料入場者20人以上の団体は2割引

- ・高校生以下の人は無料
- ・障がい者手帳を持っている人と同行者1人は無料
(障がい者手帳をご提示ください)

各会期中にギャラリートークなどを予定しています
詳しくはホームページをご覧ください

主催：唐津市近代図書館 協力：佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

上：池田幸太郎「蟬(草二像)」(部分) 1937年頃
下右：初代松本偏山「五彩布目雲獸文大皿」(部分) 1941年
下左：十三代中里太郎右衛門「叩き唐津翡翠白象嵌魚文壺」(部分) 1995年

暮らし、
うるわし、
佐賀。

日は好日

唐津市近代図書館では、平成4年の開館以来、佐賀県立博物館・佐賀県立美術館のご協力を得て同館の所蔵品による企画展を重ねてきました。今回は、令和3年度の特別展として、佐賀ゆかりの絵画と陶芸を2期に分けて紹介します。

第1期の「絵画」では、佐賀美術協会を創設した山口亮一を中心に、岡田三郎助、久米桂一郎、立石春美、石本秀雄ら郷土の美術の発展と後進の育成に尽くした画家たちを紹介します。風景や人物、人々のいとなみなど「日常の情景」とおして、日々の暮らしのいとおしさ、身近なものに寄せた画家のまなざしを感じていただけたら幸いです。

第2期の「陶芸」では、江戸から現代にかけての佐賀県の陶芸の数々を紹介します。「佐賀の三右衛門」や鬼才・松本佩山、彫刻家・古賀忠雄や染色家・鈴田照次の手掛けた陶磁器、さらに茶器や輸出用の器など、幅広い陶芸作品が集結します。今回は、「文様」を切り口に陶による表現の魅力を追求するものとなっています。

秋から冬にかけてのひととき、郷土ゆかりの美術に身近に触れ、あらためて「佐賀」の魅力を楽しんでみませんか？

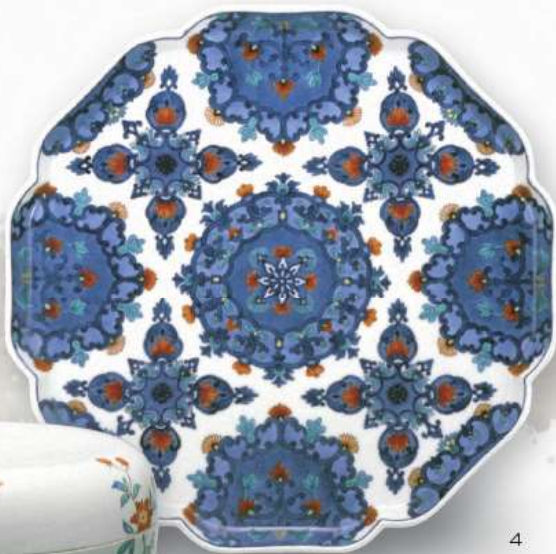


1

2



3



4



5



6

- 1 山口亮一「鳥と子供」1921年
- 2 石本秀雄「庭と少女」1948年
- 3 岡田三郎助「ぬいとり」1914年

1・2・3は
1期出品

- 4 十二代今泉今右衛門「色銅鳥更紗文八角大皿」(部分) 1963年頃
- 5 十二代酒井田柿右衛門「濁手色絵草花文蓋物」1958年頃
- 6 十二代中里太郎右衛門「叩き朝鮮唐津壺」1962~63年頃

4・5・6は
2期出品

唐津市近代図書館
美術ホール

〒847-0816 佐賀県唐津市新興町23番地
(JR唐津駅南口すぐ) TEL(0955)72-3467

唐津市近代図書館美術ホール

